



休みに入りますが、体調管理と感染予防で感染拡大を防ぎたいです。安全についても、毎日の声掛けと、声掛けした通り行動できているかの「確かめ」もお願いします。
 2学期始業式は8/18(木)

「そうじ」と「ボランティア」

1学期の子ども達を振り返って

子どもの働く姿

1学期をたくさんがんばって終業式を迎えることができました。コロナの心配から念のため、それぞれの教室を中継でつないで行い、子ども達と1学期を振り返りました。(終業式でのお話から)

「自分達で考え行動することができるような人になろう。」さらには、『あいさつ・そうじ・ボランティア』という行動を広げていこう」と話をして始まった1学期でした。確か、「働く人になってほしい」という話し方もしましたが、今年の1学期は、「あいさつ」だけでなく、「掃除」や「ボランティア」など、みなさんの働く姿が見えてきた学期だったように思います。

「そうじ」については、保健委員会も盛り上げてくれて、たくさんの「おそうじ名人」が生まれました。6年生は、学年で「ボランティア」に取り組みました。また、よい活動をしている人を見ては手伝う人もいました。6年生の朝の玄関掃除を見て手伝った人。6年生を手本にしてか、中庭の草とりをしてくれた4年生。

さらに、「これ、やってくれる人」というとたくさんの方が集まりもしました。運動会では、椅子並べや本番の日の朝、終わった後とたくさんの手伝いがありました。5年生は、一生懸命働いて野外活動を成功させました。はまなす学級では、毎週、ボランティア活動をすると決めているそうです。

「自分達で考えて行動すること」では、2年生は、運動会で1年生のお世話を進んで行いました。3年生は、運動会のソーランで、リーダーが中心になってよく働いて練習に打ち込みました。

また、放送委員会が「種小ラジオ」をはじめて受け持ったように、委員会のがんばりもありました。やっているときは大変でもやりがいがあったことでしょう。

これからも、「自分で考えて行動すること」、そして、「あいさつ、そうじ、ボランティア」が、もっともっと増えていけばよいと思っています。みんな一人一人ががんばることで「あいさつ・そうじ・ボランティア」が学校中のあちこちで見られるようになったら素晴らしいと思います。今から、そんな2学期を楽しみにしたいです。

そのためにも、夏休みは安全に暮らさなくてははいけません。けがや事故にあってははいけません。自転車、火事、水、飛び出し。一人一人が気をつけることを学級でしっかりたしかめて夏休みに入ることにしましょう。

夏休みには、夏祭りに向けて、「海の子プラス」のみなさんは練習を続けるそうです。すごいです。長い夏休み、遊ぶだけでなく、計画を立てて何かに取り組み夏休みにしたいです。

最後に、はじめて通信簿をもらい今日の終業式を迎える1年生さん。この1学期、よくがんばりました。たくさんかしこくなって、1学期を終わることができます。全校のみなさんも、よくがんばった1学期でした。2学期もまた、新しくがんばることにしましょう。始業式の日には、また、みんなが元気で集まってくることを楽しみにしています。

これから自転車チェックを始めるぞん!

ヘルメットをしっかりとつけていますか?	<input type="checkbox"/>
ふたはしゃべるをしっかりと点検していますか?	<input type="checkbox"/>
2人乗りをしてませんか?	<input type="checkbox"/>
歩行者ゆうせんにしてありますか?	<input type="checkbox"/>
信号をしっかりと守っていますか?	<input type="checkbox"/>

これでチェックは終わり!!
 みんなしっかりとするんだぞん!



児童会で、夏休みの安全について、自分達でもできることはないかと、「チェック表」を作ってくれました。

児童会スローガン「前進」のあしあと

児童会スローガンは「前進」です。各委員会では、自分達の力で進めようとがんばり、新しい取り組みもこれまであった取り組みも、その取り組みのあとがしっかりと残っています。

ボランティア委員会

運動会前の草取りボランティアを行いました。

給食委員会

毎月の食育の放送を行いました。

保健委員会

「おそうじコンクール」でたくさんの『おそうじ名人』を発掘しました。つめきり点検にはキャラクターの募集も行いました。

放送委員会

毎年執行部が行っていた「種小ラジオ」を受け持ちました。

図書委員会

教室をまわって読み聞かせをしたり児童集会で本の借り方の説明をしたりしました。

募集して決まった
「つめ点検」の
キャラクター



体育委員会

天気の日でも体育館で遊べるようにきまりをかえました。なわ跳びグランプリは、昨年度よりも自分達だけで進められるようになりました。

執行部

全体を見渡し、委員会や学年をリードしたり、活躍を紹介する場面をつくったりしました。

「ありがとうございます!!」で 草刈りを続けてしまいました!

校地ののり面の草刈りをしている用務員の竹高さんが嬉しそうに教えてくださいました。

「ちょっと雨が降ってきたので、途中で草刈りをやめようかと思ったのですが、教室の方から「ありがとうございます!」という子ども達の声が出て、ついつい、最後まで草刈りを続けてしまいました。」

お礼を言った子ども達もえらいですが、もしかしたら、お礼を言うように先生が教えたのかなとも思います。竹高さんは、そのあと先生に「うれしかったです。」とお話したとか。そうすると先生はきっと教室に戻って「うれしかったそうだよ。」と話されるでしょう。そうしたら、子ども達は、ますます、「お礼を言おう」、「感謝を伝えよう」とすることでしょう。こうして、子ども達の感謝する心が膨らんでいきます。「感謝の心の育て方」を見せていただきました。

おうち、地域でも 「あいさつ・そうじ・ボランティア」を

子ども達は、家庭や地域で長い時間を過ごします。おうちや地域でも「あいさつ・そうじ・ボランティア」を続けてがんばらせたいです。

○「あいさつ」は・・・

「おはようございます。」「行ってきます。」「ただいま。」や、先ほどの感謝の言葉「ありがとうございます。」も含めて、場面場面で言えたかどうか見ていて、言えないときは、「今だよ」とか『ありがとう』は?』と教えてあげたいです。お盆でお客さんが見えることもあるでしょう。よい機会にしたいです。

○「そうじ・ボランティア」は・・・

「お手伝い」や「仕事」と置き換えてもよいでしょう。家でも“働く”ということさせたいです。おうちの方も忙しいですから、子ども達が何かの役割を果たすことができれば助かります。「助かった」ということを伝えれば、また「手伝おうか」という気持ちも膨らむことでしょう。(先ほどの「感謝の心」のように)。